

数学ガッテン!! プリント

今日のガッテン度



二等辺三角形 B

組

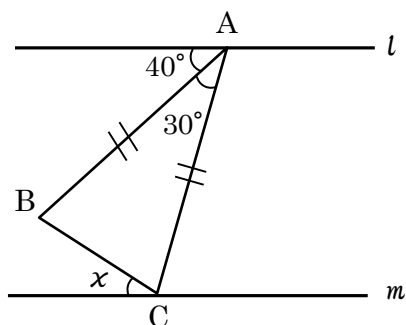
番

名前

基礎と活用

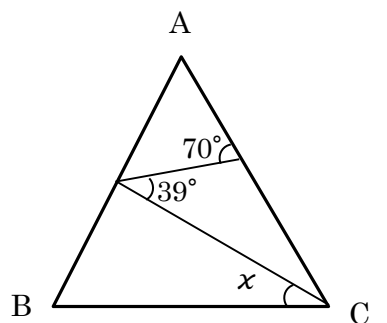
1 次の $\angle x$ の大きさを求めなさい。

① $AB=AC$, $l \parallel m$



$\angle x = \quad \circ$

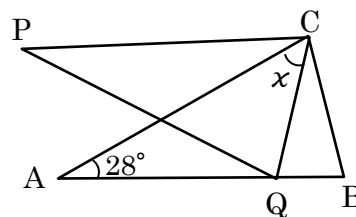
② $\triangle ABC$ は正三角形



$\angle x = \quad \circ$

2 右の図において, $\triangle ABC$ は, $AB=AC$, $\angle BAC=28^\circ$ の二等辺三角形である。

また, $\triangle PQC$ は, $PC \parallel AB$ となるように, $\triangle ABC$ を, 点 C を中心として回転移動させたものです。 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



$\angle x = \quad \circ$

3 次の逆を答えなさい。また, 逆が成り立つときには○を, 成り立たないときはその理由を答えなさい。

① 三角形が二等辺三角形ならば2つの底角は等しい。

--	--

② $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の面積は等しい。

--	--

- 4 $\triangle ABC$ があります。右の図 1 は、 $AD=BD=CD$ で $\angle ACD=50^\circ$ です。

次の (1) から (3) までの各問いに答えなさい。

- (1) 図 1 において、 $\angle ABD$ の大きさを求めなさい。

$\quad \quad \quad$

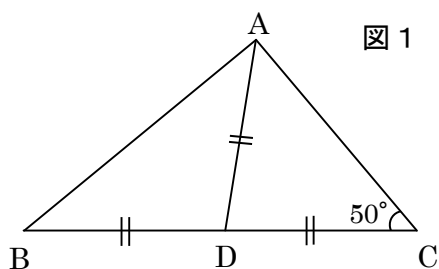


図 1

- (2) 図 2 は、図 1 の $AD=BD=CD$ の関係を変えずに $\angle ACD=20^\circ$ にしました。すると、図 1、図 2 とも $\angle BAC=90^\circ$ になりました。そこで、次のような仮説を立てました。

仮説

線分 BC の中点を D とし、 $BD=DA$ となるように点 A をとり、 $\triangle ABC$ を作ると、 $\triangle ABC$ は $\angle BAC=90^\circ$ の直角三角形になる。

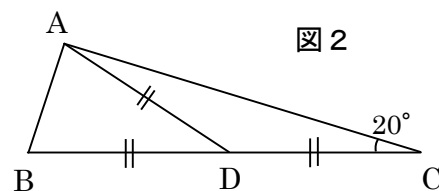
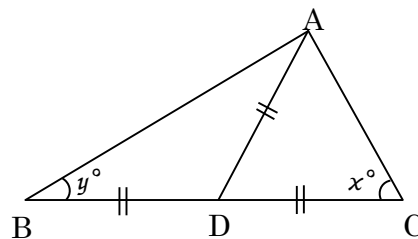


図 2

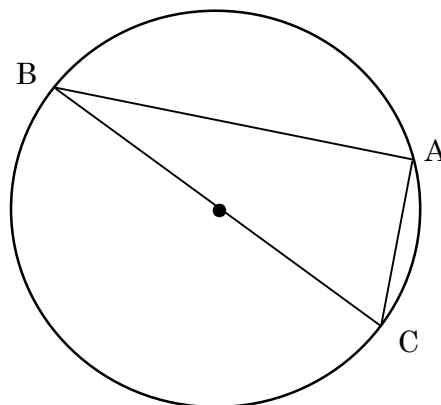
この仮説が正しいことを文字を使って証明することにしました。下の証明の続きをかきなさい。

証明 $\angle ACD=x^\circ$, $\angle ABD=y^\circ$ とすると



- (3) この証明したことが他の図形で使えないかと考えると、円の直径と半径の関係で使えることに気づきました。 $\angle ABC=35^\circ$ のとき、 $\angle BAC$ と $\angle ACB$ の大きさを求めなさい。

$\angle BAC = \quad \quad \quad^\circ$, $\angle ACB = \quad \quad \quad^\circ$



数学ガッテン!! プリント

今日のガッテン度



二等辺三角形 B

組

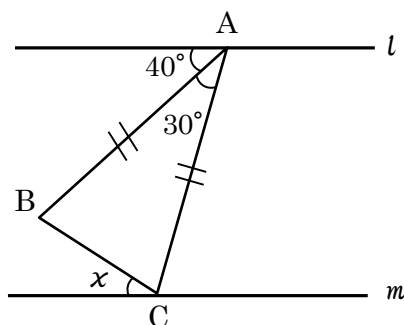
番

名前

基礎と活用

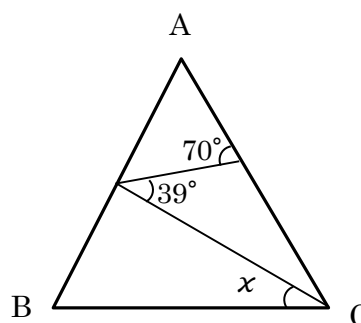
1 次の角の大きさを求めなさい。

① $AB=AC$, $l \parallel m$



$$\angle x = 35^\circ$$

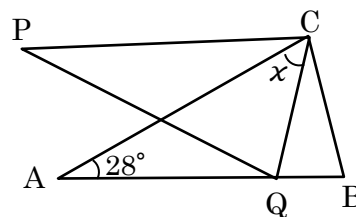
② $\triangle ABC$ は正三角形



$$\angle x = 29^\circ$$

2 右の図において, $\triangle ABC$ は, $AB=AC$, $\angle BAC=28^\circ$ の二等辺三角形である。

また, $\triangle PQC$ は, $PC \parallel AB$ となるように, $\triangle ABC$ を, 点Cを中心として回転移動させたものです。 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

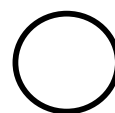


$$\angle x = 48^\circ$$

3 次の逆を答えなさい。また, 逆が成り立つときには○を, 成り立たないときはその理由を答えなさい。

① 三角形が二等辺三角形ならば2つの底角は等しい。

三角形の2つの角が等しいならば
二等辺三角形である。



② $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の面積は等しい。

$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の面積が等しい
ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ である。

底辺10cm高さ5cmの三角形と底
辺5cm高さ10cmの三角形は面積
は同じ, 形は違う。

- 4 $\triangle ABC$ があります。右の図 1 は、 $AD=BD=CD$ で $\angle ACD=50^\circ$ です。

次の (1) から (3) までの各問いに答えなさい。

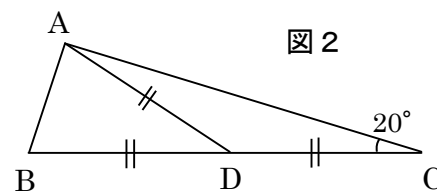
- (1) 図 1 において、 $\angle ABD$ の大きさを求めなさい。

40°

- (2) 図 2 は、図 1 の $AD=BD=CD$ の関係を変えずに $\angle ACD=20^\circ$ にしました。すると、図 1、図 2 とも $\angle BAC=90^\circ$ になりました。そこで、次のような仮説を立てました。

仮説

線分 BC の中点を D とし、 $BD=DA$ となるように点 A をとり、 $\triangle ABC$ を作ると、 $\triangle ABC$ は $\angle BAC=90^\circ$ の直角三角形になる。



この仮説が正しいことを文字を使って証明することになりました。下の証明の続きをかきなさい。

証明 $\angle ACD=x^\circ$, $\angle ABD=y^\circ$ とすると

二等辺三角形の底角は等しいから、

$\angle CAD=x^\circ$, $\angle DAB=y^\circ$

$\angle BAC=\angle CAD+\angle DAB=x^\circ+y^\circ$

だから $x^\circ+y^\circ=90^\circ$ であることを証明すればよい。

三角形の1つの外角はそのとなりあわない2つの内角の和に等しいから

$\angle ADB=2x^\circ$, $\angle ADC=2y^\circ$

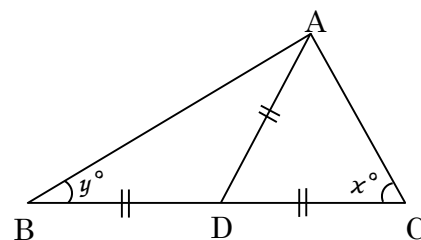
1 直線は 180° なので

$\angle ADB+\angle ADC=180^\circ$

よって $2x^\circ+2y^\circ=180^\circ$

両辺を2で割ると

$x^\circ+y^\circ=90^\circ$ だから仮説が正しいといえる。



- (3) この証明したことが他の図形で使えないかと考えると、円の直径と半径の関係で使えることに気づきました。 $\angle ABC=35^\circ$ のとき、 $\angle BAC$ と $\angle ACB$ の大きさを求めなさい。

$\angle BAC=$ **90°** , $\angle ACB=$ **55°**

